

日本地熱学会 IGA 専門部会平成 19 年度総会

議事次第案

日時：平成 19 年 11 月 28 日（水）12:30-13:00

場所：日本地熱学会平成 19 年学術講演会 第二会議室 B
文部科学省研究交流センター
(茨城県つくば市竹園 2-20-15)

議事：

1. 平成 19 年度事業報告
2. 平成 19 年度会計報告
3. 平成 20 年度事業計画案
4. 平成 20 年度予算案

資料：

- ・総会資料（本文）
- ・別紙 1：平成 19 年度決算案、20 年度予算案
- ・別紙 2：IGA 第 7 期理事名簿
- ・別紙 3：WGC2010 ファーストサーキュラー
- ・別紙 4：IGA 第 2 期加盟の協定文

A. 平成 19 年度事業報告

1. 運営体制（平成 18～19 年度）

部会長	内田利弘	（産総研）
副部会長	新妻弘明	（東北大学）
総務担当幹事	安川香澄	（産総研）
広報担当幹事	浅沼 宏	（東北大学）
渉外担当幹事	山田茂登	（富士電機システムズ）
会計担当幹事	江原幸雄	（九州大学）

2. 主な事業概要

(1) IGA News の電子配信（4 回：No. 66 - 69）

- ・ 日本関連の記事数
No. 66（1 件）、No. 67（0 件）、No. 68（0 件）、No. 69（0 件）

(2) IGA との協定の更新

- ・ 現在の IGA 加盟の協定は 2004 年-2007 年の 4 年間であり、登録会員数は 110 名、加盟費は 1400 ドル／年であった。第 2 期の協定について IGA Membership 委員会と協議を行い、IGA 理事会（2007 年 10 月 10 日）で承認された。第 2 期は 2008 年-2011 年の 4 年間。登録会員数が 103 名に減少したため、会費を 1300 ドル／年に減額することで合意した（別紙 4）。

(3) 第 7 期（2007-2010 年）IGA 理事

- ・ IGA の第 7 期理事選挙は昨年後半から準備が進められ、2007 年 6 月-7 月 31 日の間、投票が実施された。IGA 専門部会からは、田籠功一氏（西日本技術開発）と安川香澄氏（産総研）を候補として推薦した。また、1 期目の理事から山田氏（富士電機システムズ）と内田（産総研）が候補となった。候補者は全体で 42 名であり、開票の結果、上位 30 名が選出された。安川、山田、内田の各氏が当選した。
- ・ 新理事と役員、委員長のリストは別紙 2 のとおり。

(4) IGA 理事会参加

- 1) 第 42 回理事会（3 月 3～4 日、マニラ）：山田、内田出席
- 2) 第 43 回、44 理事会（10 月 10～11 日、レイキャビク）：山田、安川、内田出席

3) 主な議事

- ・ 世銀 GeoFund プログラムの開始

GeoFund は、東欧・旧ロシア諸国の地熱開発、技術者教育等をサポートするプログラム。2006 年-2008 年の期間であるが、実質的に 2007 年 2 月 7 日から開始された。各行事を外部機関に委託して実施するため、IGA への直接的な収入は管理費のみとなる。

現在、東アフリカの地熱開発を対象とする同様のプログラム（ARGeo）が検討されている。

- ・ WGC2010 の準備状況

WGC2010 は 2010 年 4 月 25 日～29 日、バリ島で開催予定。基本的に、インドネシア地熱学会の組織委員会（OC）が運営し、IGA の委員会(Steering Committee)が協力する。ただし、外国人フェローシップ予算の確保は IGA が担当する。

日程や行事の構成については、WGC2005 をほぼ踏襲している。2007 年 4 月にファー

ストサーキュラー（別紙3）、及び、公式サイト<www.wgc2010.org>が公開された。参加を検討されている人は、サイト上で、questionnaire に連絡先を記入して送付する。

・ IGA ウェブの地熱論文検索システム

過去の国際会議・ワークショップ講演論文集の収録が拡充され、現在以下の会議の PDF ファイルがダウンロードできる。収録講演論文集は 5204 件。それ以外の会議も Information 委員会が承認すれば掲載できる。

直接のアドレス：<<http://pangea.stanford.edu/ERE/db/IGAstandard/default.htm>>

- ・ World Geothermal Congress,
- ・ Stanford Geothermal Workshop,
- ・ New Zealand Geothermal Workshop,
- ・ European Geothermal Conference,
- ・ Iceland Geothermal Conference,
- ・ Indonesian Geothermal Association Conference,
- ・ Beijing International Geothermal Symposium,
- ・ International Geothermal Workshop - Russia, and
- ・ Geothermal Energy in Underground Mines - Ustron - Poland

・ 地熱資源量の算定方法の検討

新しい地熱地域の開発において客観的な経済評価を行い、資金調達等のバックデータとするため、資源量評価の標準的な算定方法を構築する。

(5) IGA 西太平洋地域支部（Western Pacific Regional Branch, WPRB）

- ・ WPRB は、2006 年 11 月 16 日にニュージーランドで総会が開催され、設立した。
- ・ IGA 専門部会から 66 名が参加。日本在住者の年会費は 1 人あたり 5 ドル/年。
- ・ 第 2 回総会を 2007 年 3 月 7 日にマニラで開催。WPRB はまだ大きな行事は行っていないが、毎年、持ち回りで支部大会を開催する。
- ・ 2007-2010 期の幹事体制（Forum）を選出した（2007 年 10 月）。
Jim Lawless（委員長、ニュージーランド）、
Alimin Ginting（インドネシア）、
Larry Bayrante（フィリピン）、
Tingshan Tian（中国）、
Graeme Beardsmore（オーストラリア）、
Toshi Uchida（日本）、
Kevin Brown（ニュージーランド）
- ・ 2008 年 4 月にバリ島で 2008 年支部大会を開催し、同時に、貯留層管理に関するセミナーを開催予定。

(6) 地熱エネルギー入門の印刷

- ・ 2006 年 11 月に「地熱エネルギー入門（翻訳版）」を印刷し、部会員等に配布した。現在は、残部はほとんどない状況。

(7) その他の海外地熱関連情報の配信

- ・ 専門部会のホームページを改訂した。IGA 情報、WPRB 情報、海外の地熱情報について、コンテンツを増やしていく方針。
- ・ 学会外部からのアクセスを制限するため、パスワードを設定したページを設けた。

3. 会計報告

（別紙 1 参照）

B. 平成 20 年度事業計画案

1. 運営体制（平成 20～21 年度）

部会長	内田利弘	（産総研）
副部会長	新妻弘明	（東北大学）
総務担当幹事	安川香澄	（産総研）
広報担当幹事	浅沼 宏	（東北大学）
渉外担当幹事	山田茂登	（富士電機システムズ）
会計担当幹事	江原幸雄	（九州大学）

2. 主な事業概要

- (1) IGA News のメール配信（4 回）
- (2) IGA、西太平洋地域支部の活動への協力
- (3) その他の海外学会との協力
- (4) 「地熱エネルギー入門」の再印刷
- (5) 海外の地熱関連情報の配信、学会ホームページの更新
- (6) IGA News 原稿投稿の勧誘
- (7) その他、活動アイデアを募集します。

（参考）IGA 第 7 期理事会の重要な課題

- ・WGC2010（2010 年 4 月、インドネシア・バリ）の準備、運営
- ・WGC2015 開催地の選定
- ・世銀 GeoFund プログラムの運営
- ・次々期に向けた IGA 事務局移転の可能性検討
- ・IGA ニュース、教育セミナー、情報普及、地熱開発促進等の通常行事の遂行

3. 会費

(1) 専門部会費

- ・2000 円／年

ただし、GRC 会員（あるいはニュージーランド地熱学会会員）は 1000 円／年

(2) 西太平洋地域支部会費

- ・600 円／年

（支部への会費は一人当たり 5 ドルであり、毎年全員分 330 ドルを一括で支払う。）

(3) 会計幹事の業務を簡素化するため、専門部会費は 2008-2011 年の 4 年分、西太平洋地域支部会費は 2007-2011 年の 5 年分の一括納入を標準とする。

4. 予算案

（別紙 1 参照）

以上

1. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成19年度決算案

自 平成18年10月01日

至 平成19年09月30日

項目	予算	決算
収入		
専門部会活動費（地熱学会より）	150,000	100,000
平成19年度個人会費	0	60,000
個人会費預かり金（前納付19年度分）	171,445	171,445
利息	0	341
学会からの預かり金		50,000
計	321,445	381,786

項目	予算	決算
支出		
2007年IGA団体加盟費	170,000	174,810
2007年西太平洋地域支部会費	0	39,854
H20年度以降IGA個人会費前納付預かり金	0	26,000
通信費	30,000	630
印刷費（地熱エネルギー入門）	70,000	24,110
予備費	26,445	0
学会への返納	25,000	116,382
計	321,445	381,786

注) 上記収支決算報告について、2007年10月16日に岩田、山田両監事の監査、及び、2007年10月17日評議員会で承認済み。

2. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成20年度予算案

項目	予算
収入	
専門部会活動費（地熱学会より）	168,382
H20年度IGA個人会費	133,600
H19-20年度西太平洋地域支部個人会費	63,360
IGA個人会費預かり金（前納21-23年度分）	400,800
地域支部個人会費預かり金（前納21-23年度分）	95,040
利息	0
計	861,182

項目	予算
支出	
2008年IGA団体加盟費	172,000
2008年西太平洋地域支部会費	39,600
通信費	2,000
印刷費（地熱エネルギー入門改訂版）	150,000
IGA個人会費預かり金（前納21-23年度分）	400,800
地域支部個人会費預かり金（前納21-23年度分）	95,040
予備費	1,742
学会への返納	0
計	861,182

IGA 第7期理事名簿 (選出30名及び前会長)

名前：アルファベット順 (*は新任)

役職

Miklos A. Antics* (ルーマニア)	Programme & Planning Chair
Godfrey Bahati* (ウガンダ)	
Rosa Maria Barragán R. (メキシコ)	
Graeme Beardsmore* (オーストラリア)	Nomination Chair
Ruggero Bertani (イタリア)	Vice-President
Christian Boissavy* (フランス)	Bylaws Chair
Paul Brophy (米国)	Finance Chair
Surya Darma* (インドネシア)	
Alimin Ginting (インドネシア)	
Gestur Gíslason (アイスランド)	Secretary
Colin Harvey* (ニュージーランド)	Treasurer
Paul Hirtz* (米国)	
Roland N. Horne* (米国)	Membership Chair
Beata Kepinska (ポーランド)	
Horst Kreuter* (ドイツ)	
Jim Lawless (ニュージーランド)	
John Lund (米国)	Past President
Orhan Mertoglu (トルコ)	
Francisco E. Montalvo L.* (エルサルバドル)	
Martin N. Mwangi* (ケニア)	
Manuel S. Ogena (フィリピン)	Audit Chair
Sanja Popovska V.* (マケドニア)	
Konstantin O. Povarov* (ロシア)	
Horst Rüter* (ドイツ)	Education Chair
Ladislaus Rybach* (スイス)	President
Benedict Steingrímsson* (アイスランド)	Information Chair
Toshihiro Uchida (日本)	
Francois-David Vuataz (スイス)	
Shigeto Yamada (日本)	
Kasumi Yasukawa* (日本)	
Keyan Zheng (中国)	

Árni Ragnarsson (アイスランドのIGA事務局)

Executive Director

WGC 2010 World Geothermal Congress



AN EXTENSIVE CULTURAL AND SOCIAL PROGRAM IS BEING PLANNED

ACCOMPANYING PERSONS PROGRAM WILL ALSO BE PROVIDED

BALI DECLARATION

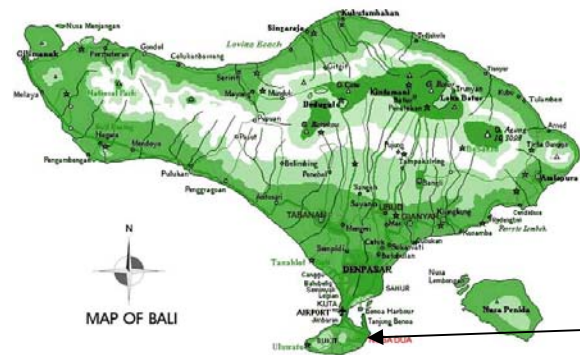
At the closing ceremony of the WGC 2010 the Bali Declaration empowering international geothermal development will be announced.

IMPORTANT DATES

- June 30th, 2008 : Call for abstracts
- January 31st, 2009 : Abstract deadline
- March 31st, 2009 : Notification of acceptance of abstracts
- May 31st, 2009 : Draft papers due
- October 30th, 2009 : Final paper due
- April 25-29th, 2010 : WGC 2010

FIRST ANNOUNCEMENT RESPONSE

Please return the attached questionnaire by mail, fax or e-mail or go to website www.wgc2010.org and join the mailing list. Your prompt response will aid the organizers in setting the timetable for the technical sessions. The details of the Congress venue and hotel accommodations will be provided in next Announcement.



MAP OF BALI

Bali International Convention Centre
Nusa Dua, Bali

WGC 2010 Preliminary Questionnaire

**WORLD
GEOTHERMAL CONGRESS 2010**
Bali, Indonesia 25-29 April, 2010

Mailing Address: Organizing Committee of WGC2010
Secretariat API/INAGA: Gedung Indonesia Power Lt.1Jl. Jend. Gatot Subroto Kav.18, Jakarta
12950, Indonesia Phone: +62.21.5253787, +62.21.5252379; Fax : +62.21.5255939

General Information

Name: _____

Title: _____

Organization: _____

Mailing Address: _____

City: _____ Country: _____ Zip: _____

Telp: _____ Fax: _____

Title of proposed paper(s) for the Congress:

Field trips

I am interested in participating in the following field trips:

- Bali (2 days Pre Congress Tour)
- Bali and Bedugul Field on Bali (2 days Post Congress Trips)
- Yogyakarta and Dieng Field on Central Java (3 Days Post Congress Trips)
- Jakarta and Salak Field on West Java (3 Days Post Congress Trips)
- Bandung and Kamojang-Wayang Windu Field on West Java (3 Days Post Congress Trips)
- Bunaken and Lahendong Field on North Sulawesi(3 days Post Congress Trips)

Short Courses

I am interested in participating in the following Short Courses:

- Introduction to Geothermal Energy
- Environmental
- Power Generation
- Reservoir Management
- Direct Use
- Legal, Institutional and Regulatory
- Financing
- Geothermal Heat Pumps
- Exploration
- Enhanced Geothermal Systems
- Drilling
- Corrosion & Scaling Prevention
- Carbon Credit

Please return the questionnaire by mail, fax or e-mail or go to website www.wgc2010.org and fill out the questionnaire electronically and please join the mailing list.
Please complete and return this form to: WGC2010 Secretariat:
Email: secr@wgc2010.org

WGC 2010 World Geothermal Congress



First Announcement

25 – 29 April, 2010 – BICC Nusa
Dua Bali, Indonesia



Bali, Indonesia
25-29 April 2010

www.wgc2010.org

**“Geothermal:
The Energy to Change
the World”**



Bali, Indonesia
25-29 April 2010



World Geothermal Congress 2010

25 - 29 April, 2010 --Bali, Indonesia

INVITATION

The International Geothermal Association (IGA) in cooperation with the Indonesian Geothermal Association (INAGA) and Organizing Committee WGC 2010 cordially invites all persons, institutions, companies and other parties to attend and participate in the World Geothermal Congress (WGC 2010) to be held at Bali, Indonesia in 2010. The Organizing Committee, composed of Indonesian Geothermal stakeholders as a host country and Internationally respected geothermalists, has been formed by Minister of Energy and Mineral Resources of Republic of Indonesia. This 5-year event serves as a venue for geothermal people to exchange ideas concerning advances and technological innovations in all related fields of geothermal energy.

The theme of the Congress will be "Geothermal: the Energy to Change the World"

TECHNICAL PROGRAM

Contributions to the technical sessions are open, but not necessarily limited to the following topics :

General Topics

- Country Updates
- Environmental and Societal Aspects
- Legal and Regulatory Aspects
- Economic and Financing, Privatization
- Sustainability
- Case Histories
- Energy Policies

Earth Science Topics

- Geology
- Geophysics
- Geochemistry
- Advanced (HDR, Magma, Geo-pressure)
- Hydrogeology
- Exploration
- Engineering Topics
- Drilling and Completion Technology

Reservoir Engineering

- Injection Technology
- Power Generation
- Direct Use, Geothermal Heat Pumps
- Integrated Energy Systems, Cascaded Uses
- Corrosion and Scaling
- District Heating and Agriculture
- Combined Heat & Power



Bali, Indonesia
25-29 April 2010



World Geothermal Congress 2010

25 - 29 April, 2010 --Bali, Indonesia

Innovative Topics

- Software for Geothermal Applications
- Health, Tourism and Balneology
- Field Management
- Clean Development Mechanism
- Geothermal Hydrogen Technology
- Production of Bio-fuels
- Mineral Extraction

EXHIBITION

As a showcase of the worldwide geothermal industry, an exhibition of equipment and technology will be held. The exhibition will be an excellent opportunity to highlight the latest advances in the geothermal and related industries

SHORT COURSES

A number of short courses are being considered for the Congress, which will cover the up-to-date and practical knowledge related to geothermal energy. The selection of particular topics depends on the interest shown by potential attendees. Please indicate your preference(s) from the list on the Preliminary Questionnaire and return it to WGC2010 Secretariat before January 31st, 2008.

GEOTHERMAL TRIPS AND TOURS

Field excursions and sightseeing tours are planned:

Bali, Ubud & Bedugul Field (Bali)

Bali offers many magnificent sites. Ubud is Bali's center of arts. Kintamani offers a view of the recent Mt. Batur volcanic activity, and Tanah Lot is a spectacular seaside temple, particularly during sunset.

The Bedugul Geothermal Field's first 10 MW unit (out of a total of 175 MW) is currently under development.

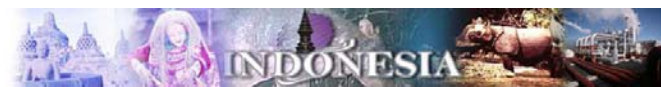
Yogyakarta Borobudur & Dieng Field (Central Java)

In Yogyakarta, Central Java, the Sultan's Palace marks the former capital of the Mataram Empire. A spectacular Ramayana Ballet performance can be enjoyed in Prambanan, whilst Yogyakarta is also proud to have the Borobudur temple, one of the famous wonders of the world.

The Dieng Geothermal Field, located in the scenic Dieng Plateau, Central Java, currently generates a total of 60 MWe.



Bali, Indonesia
25-29 April 2010



World Geothermal Congress 2010

25 - 29 April, 2010 --Bali, Indonesia

Jakarta & Salak Field (West Java)

Jakarta, the capital of Indonesia has many fascinating historical museums, along with the unforgettable Taman Mini Indonesia Indah or Miniature Indonesia where one can view all of Indonesia's culture within one day.

The Salak Geothermal Field, West Java, with a capacity of 330 MWe is the largest geothermal field in Indonesia.

Bandung - Tangkuban Perahu & Kamojang-Wayang Windu Field

Bandung was known as "Paris van Java", Paris of Java. Beautiful crater of the active volcano of Mt. Tangkuban Perahu and the legendary Bosscha Observatory are also situated here.

The Kamojang and Wayang Windu geothermal fields generate 140 and 110 MWe, respectively. There is also a geothermal direct use for mushroom growing since 1999.

Manado, Bunaken & Lahendong Field (North Sulawesi)

In Manado, the fabulous Bunaken Island National Marine Park can be enjoyed through a glass-bottom boat. The Woloan villages here offer knocked down traditional Minahasan wooden stage houses for purchase.

Lahendong, the first geothermal field developed in North Sulawesi, has a generation capacity of 20 MWe.

There are also direct use of geothermal for processing of palm sugar and white copra



AGREEMENT OF AFFILIATION
OF
THE GEOTHERMAL RESEARCH SOCIETY OF JAPAN
WITH
THE INTERNATIONAL GEOTHERMAL ASSOCIATION
(2008-2011)

AGREEMENT OF AFFILIATION
OF
THE GEOTHERMAL RESEARCH SOCIETY OF JAPAN
WITH
THE INTERNATIONAL GEOTHERMAL ASSOCIATION

CONTENTS:

- The agreement pages 1-4
- Annex I: IGA' Charter, Rules of Incorporation
and By-laws pages I/1-12
- Annex II: Official registration and By-laws of IGAJ pages II/1-4
- Annex III: Membership list of IGAJ pages III/1-3

AGREEMENT OF AFFILIATION
OF
THE GEOTHERMAL RESEARCH SOCIETY OF JAPAN
WITH
THE INTERNATIONAL GEOTHERMAL ASSOCIATION

This Agreement, dated this 11th day of October 2007, sets forth the general provisions and the specific obligations under which the IGA Special Committee of the Geothermal Research Society of Japan (the Special Committee hereinafter indicated with the abbreviation IGAJ) will be an Affiliated Member of the International Geothermal Association (hereinafter indicated with the abbreviation IGA).

Article 1 PREAMBLE

- 1.1 IGA is incorporated in New Zealand since July 1988. The Secretariat of IGA is located in Reykjavik, Iceland. It is a non-political and non-profit Association designed to operate worldwide in the field of geothermal energy, and IGA is a Non Governmental Organization in special consultative status with the Economic and Social Council of the United Nations.
- 1.2 IGA's purposes are to encourage, facilitate and, when appropriate, to promote the coordination of activities related to worldwide research, development and application of geothermal resources.
- 1.3 A copy of the Charter, Rules of Incorporation and By-laws under which the IGA was legally constituted and is governed at present is annexed to this Agreement as Annex I.
- 1.4 IGAJ is a non-political and non-profit Association, registered in Tokyo and is designed to operate in Japan.
- 1.5 IGAJ's purpose is to facilitate geothermal research, to promote utilization of the earth's heat and to conduct educational activity in the geothermal sector in Japan.
- 1.6 A copy of the By-laws under which the IGAJ was legally constituted and is governed is enclosed here as Annex 2.
- 1.7 The IGA and the IGAJ recognize that their statutes are similar in scope and objectives and are aimed at carrying out educational, informational and scientific activities directed at fostering research and development of geothermal energy.

Article 2 AFFILIATION

The two Parties (IGA and IGAJ) agree that the IGAJ will be an Affiliated Organization of IGA under the following provisions.

- 2.1 Conditions stated in points 1.1) through 1.7) are a substantive part of this Agreement;

2.2 Upon compliance with the terms set forth in this document of Agreement:

- a) IGAJ accepts to be an Affiliated Organization of the IGA in Japan, under the provisions set forth in Article 5 of the IGA By-laws;
- b) IGA accepts that IGAJ is and represents an Affiliated Organization of the IGA in Japan.

Article 3 TERM OF AFFILIATION

This Agreement covers affiliation for the calendar years 2008 through 2011. However, either Party may cancel this affiliation at the end of any year upon written notice submitted at least 120 days prior to end of that year.

Article 4 MEMBERSHIP IN IGA

Throughout the term of this affiliation, all IGAJ Members (either Individual Members or Members belonging to Corporations and Institutions, affiliated with IGAJ) shall be considered as Individual Members of IGA, as such are defined in IGA's Charter and By-laws, and are entitled to all the benefits of an Individual Member, and on the same terms as for an Individual Member.

The Student Members of the IGAJ, however, will not have the right to vote, similarly to Student Members of the IGA, as outlined in Article 4 of the IGA By-laws.

Article 5 OBLIGATIONS OF THE PARTIES

5.1 Obligations of the IGAJ

5.1.1 Annual subscription

As a cash contribution for membership annual subscription, IGAJ shall pay to IGA (In lawful money of the United States of America) the following amounts;

- a) US \$1300 (one thousand and three hundreds US dollar) for 2008;
- b) US \$1300 (one thousand and three hundreds US dollar) for 2009;
- c) US \$1300 (one thousand and three hundreds US dollar) for 2010;
- d) US \$1300 (one thousand and three hundreds US dollar) for 2011;

These amounts shall be paid annually no later than 30 June of each year.

5.1.2 Equivalent services

In addition to the amounts specified above, in order to cover part of the annual membership due, IGAJ shall render the following services to IGA as a contribution in kind:

- a) periodic collection of Japan geothermal articles and data, aimed at meeting the IGA needs to disseminate geothermal information worldwide. This includes the proceedings of the annual geothermal workshop;
- b) preparation of two short articles per year to contribute to the IGA Newsletter;

- c) receipt from IGA Officers, Permanent Committees and Secretariat, and distribution to all IGAJ Members, at no charge for IGA, of IGA material (Newsletter, leaflets, publications, voting forms, etc.);
- d) receipt from IGAJ Members and forwarding to the concerned Members of IGA, at no charge for IGA, of any materials addressed to IGA Officers, Permanent Committees and Secretariat;
- e) organization of an IGA BoD meeting in Japan within the period of validity of this Agreement (if the IGA BoD decides to hold a BoD meeting in Japan);
- f) forwarding to the IGA Secretariat, within June of each year, of the IGAJ membership list, including name, address, phone/fax and e-mail numbers of each Member. The membership list of IGAJ as of 2007 is annexed here as provisional Annex III.

5.2 Obligations of the IGA

IGA is bound to consider each IGAJ Member as an Individual Member of the IGA, according to the provisions set forth in previous Article 4 of this Agreement. Therefore, each and all IGAJ Members are entitled to receive all benefits of the IGA Members.

As currently envisaged, such benefits include:

- a) reduced subscription price to the journal *GEOTHERMICS*;
- b) free receipt of the IGA Newsletter;
- c) access to IGA database(s) and file reports;
- d) reduced participation fee to attend congresses, workshops, events, etc. organized directly or sponsored by the IGA;
- e) discounted price to purchase publications edited by IGA, or for which IGA will obtain discounts for its Members.

Article 6 AFFILIATION SHALL NOT CONTRAVENE PARTIES' CHARTER AND BY-LAWS

This affiliation shall not in any way contravene either Parties Charter or By-laws or any governing Statute or Regulation. All such relevant documents, as they are as of 2007, are annexed to, and form part of this Agreement (Annex I). If any aspect of this affiliation is discovered to contravene a Charter, By-law, Statute or Regulation of any Parties, the Parties shall amend this affiliation Agreement so as not so affect any such Charter, By-law, Statute or Regulation.

As to the future, each Party is free to modify or amend at its sole discretion its Statutes and By-laws. However, in the event of any significant modifications or amendments, each Party is obliged to send copy of its new Statutes/By-laws to the other Party in order to let the latter Party judge if said modifications or amendments are in line with the content and the spirit of this affiliation Agreement.

Article 7 RENEWAL OF THE AGREEMENT

Except for the details concerning the obligations of each Party as established in previous Art. 5 (obligations which are to be renegotiated with fair advance at least 6 months before the expiration date), this affiliation Agreement may be renewed for the following four years period by written notification between the two Parties.

The new obligations for the concerned period are to be annexed to the notification letter.

Article 8 LIAISON

In conformity with Article 5 of IGA By-laws, the Parties appoint the Chairman of the Membership Committee of IGA and the Secretary of IGAJ as Liaison Officers. It shall be the responsibility of the Individuals holding these positions to maintain contacts with one another, to notify one another of any events which may bear on this Agreement, and to carry out such negotiations as may be required between the IGA and the IGAJ.

Article 9 AMENDMENTS

This Agreement of affiliation may be amended at any time upon the approval of the Boards of Directors of both Parties.

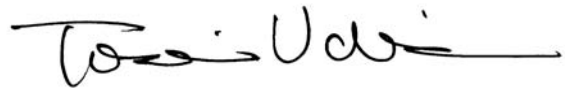
In witness whereof, this Agreement of affiliation, constituted by Articles 1 (one) through 9 (nine), is executed this 11th day of October 2007.

For IGA by



Roland N. Horne
(Chairman of Membership Committee)

For IGAJ by



Toshihiro Uchida
(Chairman of IGAJ)